

天売島のウミネコ襲撃犯

# ネコ退治「待った」

## 東京の動物愛護団体が道に異議

駆除すべきか、それとも不妊・去勢手術を施すのがよいのか。オロロン島(ウミガラス)など海鳥の生息地として知られる留萌管内羽幌町の天売島で、同町役場がウミネコなどを襲う野良猫の駆除を計画したことに対し十六日、東京の動物愛護団体が道に「駆除は法律違反の疑いがあり、動物愛護からも問題」として、不妊・去勢手術で野良猫の増殖に歯止めをかけるよう申し入れた。道側は駆除の中止を約束したが、手術の実施については確答を避けた。天売島の野良猫騒動の行方がクローズアップされることになった。

### 不妊・去勢の手術を

### とりあえず 駆除は中止

申し入れをしたのは「動している。二年前には同じく、①猫の捕獲・駆除は動物たちの会」(レナード、以下に野良猫が増える貴重、物保護の趣旨に反し、財産と回答。不妊手術にはヘロルド代表。同会は東、な鳥類が襲われていた小笠、権侵害の恐れもある。動物愛護を中心に天や猫の殺、原諸島(東京都)を対象に、を捕獲して殺すのは動物愛護の精神に反する」とし、三百万円以上の募金を集め、護の精神に反する」とし

て獣医を派遣、約一百匹にて、駆除を中止する手術を行った。天売島の猫駆除計画を知、遠山裕章さん(50)が、四日間現地調査を行、十六日、道庁を訪、山さんは「野良猫が海鳥を捕食するのは、きなかったが、周囲十、面積五・五平方キロ、五十四匹以上はいる。に任されている」と、直ちに不妊・去勢手術を施すよう求めた。

これに対し、道側は、について「申し入れ、法的にも問題がある。町にも実施を見合、う指導した(自然保護は予算からの制約も、早急な実施は難しいが、元や関係団体と協議、

人間は勝手だニャー

民家の軒下に身を寄せる天売島の猫たち。飼い猫と野良猫の区別もあいまいだ＝「動物たちの会」提供

8.8 猫出

2/29